

2019年5月8日

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、2019年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、北海道運輸局、北海道、北海道警察、交通関係協力団体のご協力をいただき、踏切事故の防止を図るため5月11日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。



踏切事故防止キャンペーンの様子

■実施期間

2019年5月11日(土)から5月20日(月)までの10日間

■実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内などでの業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 道内のガソリンスタンド（48箇所）及び駅レンタカー営業所（23箇所）をご利用になるドライバーへの呼びかけ（ポケットティッシュ配布）
- ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問しての呼びかけ
- ・ ラジオCMの放送
- ・ 函館駅構内でのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

<踏切事故の概況>

2018年度、JR北海道での踏切事故は3件発生し、前年度と比較すると1件の減少となっております。いずれも冬期間に発生した踏切事故で、警報機が鳴っている状態で車が止まりきれず列車の側面に衝撃しております。また、警報機が鳴っている踏切を、無理な通行などでしゃ断ポールが折損した件数は、267件発生しております。